

## 大阪維新の会大阪府議会議員団の府政報告

令和3年 2月定例会

# 令和3年度大阪府当初予算が成立 3兆5,086億円（一般会計） コロナを乗り越え、成長する大阪へ！吉村洋文知事



維新府議団 代表質問 森 和臣幹事長 笹川 理政調会長代理（3月2日）

吉村洋文知事

## 新型コロナウイルス感染症対策

森 和臣 新型コロナ感染症から府民の命と経済を守る今後の対策について伺う。



吉村知事 飲食店等への時短要請を大阪市内に限定して継続し、4人以下のマスク会食を徹底。また検査体制を拡充整備し疫学調査を継続実施し、更なる病床や転院受入先を確保。さらにできるだけ多くの方のワクチン接種を働きかけていく。

## 府市的一体的な行政運営の推進に関する条例

森 和臣 本条例制定の必要性及びその効果について伺う。

吉村知事 府市の連携を将来にわたってより強固なものとし、副首都・大阪を確立し、豊かな住民生活の実現に必要不可欠なもの。

## 2025年大阪・関西万博

森 和臣 大阪パビリオン出展に向けて民間の力を引き出す取組みについて伺う。

政策企画部長 来場者が驚きをもって明るい未来を感じ取れるパビリオンとするため、企業や大学に対し推進委員会への参画を呼びかけていく。

## 国際金融都市

森 和臣 ビジネス環境・生活環境の整備及び国際金融都市実現に向けた戦略的な取組みについて伺う。

政策企画部長 まずは推進委員会において大阪のビジネス面や生活面における強み・課題を調査分析。その結果を踏まえ、行政手続き等のワンストップ窓口の設置、海外プロモーションなど海外事業者を呼び込むための施策を具体化。2025年までに国際金融都市の土台作りに取り組んでいく。

## 感染症に関する研究や提言を行う拠点

## 大阪国際感染症研究センター構想

## 感染症に強い都市づくりに向け

## 大阪府・市と公立大学法人大阪が発表

新型コロナだけでなく今後も新たな感染症による危機事象に備えるため、府立大と市立大が統合して、2022年4月に誕生する大阪公立大に整備

吉村知事：専門的な観点から、感染症にアプローチできる組織が必要

## センターの機能

☆科学的エビデンスに基づく政策支援・提言機能  
☆国際的な視野での研究・教育機能◎4月から先行して取り組みを始める  
(R3当初予算に3500万円)

## 男女共同参画社会の実現

笹川 理 府庁内を含め大阪全体における女性活躍推進の取組みについて伺う。



教育長 方針の立案・決定過程への女性の参画拡大やワーク・ライフ・バランスの推進などをオール大阪で進めていく。

笹川 理 保護者ニーズを踏まえた預かり保育の新たな補助制度について伺う。

笹川 理政調会長代理

教育長 新たな補助制度では、充実した預かり保育を実施する幼稚園には高い補助単価の区分を適用。長時間及び長期間の預かり保育の実施を推進し、保護者のニーズに応えていく。

## 共生社会の実現

笹川 理 大阪府高齢者計画2021における重点的な取組みについて伺う。

福祉部長 地域包括ケアシステムの深化・推進に資する取組みを総合的に行う。介護保険の理念である「自立支援」を具現化していく。

## 学校教育の変革

笹川 理 GIGAスクール構想実現への思いについて伺う。

教育長 全ての府立高校生に対し、基本的な知識・技能等を確実に習得させ、より高いレベルで思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的・対話的で個別最適化された学びを提供。府としても全学年で一斉に整備することとし、予算案としてご審議をお願いしているところ。

代表質問の全容については大阪府議会ホームページをご覧ください。

## 「副首都・大阪」の確立に向けて

## 広域一元化条例を制定（全国初）

過去の二重行政に戻すことなく、大阪府・大阪市一体の大阪を継承・強化

## 基本的な考え方

条例の制定により、府市的一体的な行政運営の推進を通じ、将来にわたる二重行政の解消、大阪の成長・発展を図る

## 知事の権限と責任を明確化

## 期待される効果

- 広域性の確保
- 一体性の確保
- スピード感の向上
- 重点投資の徹底

## 大阪の成長・発展をさらに加速

## 広域一元化条例のイメージ

## 副首都推進本部会議（知事、市長、副知事等で構成）

- 成長戦略の策定
- 府に一元化する事業を協議

府市の基本方針決定  
→一元化大阪の成長に向けた戦略や鉄道網整備の計画など  
都市計画の権限を府に委託

大阪市



- 万博のインパクトを活かした将来ビジョン
- うめきた2期開発
- なにわ筋線、淀川左岸線延伸部の整備
- 大阪・関西万博の準備
- IR施設の誘致

大阪府

